

初めに神

(木)

初めに神は天と地を創造された。(一)

聖書はこの言葉をもって始まります。聖書は、神は本当に存在するか否かという私たち人間の問いに答えようとはしません。その最初から存在されるお方です。「初めに」とは、時間的な初めではなく、全ての根源、本質としての初めということです。一切の根源は神にあるという信仰告白です。ですから天地創造の記事は、宇宙がどのようにして生成したかという自然科学的な説明などしません。この世界が造られた意味を明らかにするものです。神を抜きにすると、この世界が出来たことは偶然に過ぎなくなり、全ては無意味となり、私たちの人生にも意味がなくなります。天地創造の信仰は、そのようなニヒリズムから私たち人間を救い出します。私たちは偶然、無目的に存在するのではなく、神によって生かされている者たちです。だからこそ、希望をもって生きることができるのです。